

平成28年11月29日

平成28年
第5回野洲市議会定例会
意見書

野洲市議会

意見書第19号

TPP強行採決に抗議、差戻し徹底審議を求める意見書（案）

上記の意見書を提出する。

平成28年11月29日

提出者 野洲市議会議員 野 並 享 子

賛成者 野洲市議会議員 太 田 健 一

賛成者 野洲市議会議員 東 郷 正 明

TPP強行採決に抗議、差戻し徹底審議を求める意見書(案)

多国籍企業の利益を最優先し、各国の産業・雇用・国民生活を犠牲にするTPPへの批准はTPP参加国内でも反対の声が広がり、先の米国大統領選挙でもTPP反対のトランプ氏が勝利するなかで、オバマ米政権は、来年1月の任期満了までにTPPの議会承認を断念すると表明しTPPの発効事態危ぶまれています。これまでにTPPに参加する12カ国で批准した国は一つも有りません。安倍政権は、山本農林水産大臣の2度にわたる暴言にも反省は無く、数の力で年内にTPP協定を批准させようとしています。丁寧に説明すると言いながら、8,400ページの協定関連文書の和訳は2,400ページで交渉経過資料は、表題以外はすべて黒塗りで十分な説明もないまま11月10日に衆議院本会議で強行採決され参議院に送られました。強く抗議し差戻し徹底審議を求めます。

これまで①TPP協定には関税の撤廃・削減をしない「除外」規定が一切存在しないことと、②付属書で、日本だけが農産物輸出大国5か国との間で、さらなる関税撤廃に向けた見直し協議を特別に義務付けられていること、③一切手を付けさせなかったと言う155の細目も品目でみれば「無傷」のものはただの一つもないと言う事実を、石原TPP担当相と山本農相も認めています。

何よりもこれらの内容が「農林水産分野の重要5品目などの聖域の確保を優先し、それが確保できないと判断した場合は、脱退も辞さないものとする」とした国会決議に反していることは明らかであり、決議を無視することは許されません。審議すればするほど矛盾が広がるTPPは強行採決では無く差戻し徹底審議し、TPP協定の批准は行わないことを強くもとめます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成28年11月29日

野洲市議会議長 坂口哲哉

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 宛

農林水産大臣

経済再生担当大臣

意見書第20号

PKOで自衛隊駆付け警護付与に抗議する意見書 (案)

上記の意見書を提出する。

平成28年11月29日

提出者 野洲市議会議員 太田 健一

賛成者 野洲市議会議員 東郷 正明

賛成者 野洲市議会議員 野並 享子

PKOで自衛隊駆付け警護付与に抗議する意見書（案）

安倍政権の閣議決定で、南スーダンPKO（国連平和維持活動）で陸上自衛隊に新任務の駆けつけ警護を付与され、これにより任務遂行のための武器使用が可能になりました。

戦後70年間自衛隊が殺し殺されることが無く平和が維持されてきたにもかかわらず安保法制（戦争法）を強行し遂に憲法違反の武器の使用を認めるという安倍政権の暴挙は許されません。

10月24日に公開された南スーダンの訓練では駆けつけ警護や宿营地防護で、相手も自衛隊も銃は使用しないというのが前提でしたが、安全を国民にアピールしたいから現実離れた訓練を見せたのに過ぎません。和平合意も崩壊し南スーダンでは銃撃戦が行われています。しかし自衛隊の家族には南スーダン共和国が国連PKOの活動に同意し、受け入れている状況においては、武力紛争に巻き込まれることはないと言っていますが、南スーダンでは、同国軍そのものが紛争当事者となっているのが実態です。

いかなる時も武力によって平和は生まれません。武力で生まれるのは悲しみです。憲法9条を無視し、南スーダンPKO活動での、自衛隊の駆けつけ警護の付与に対し抗議します。直ちに自衛隊は撤退し、非軍事の人道・民生支援に徹底されることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成28年11月29日

野洲市議会議員 坂口 哲哉

内閣総理大臣

参議院議長 宛

衆議院議長

防衛大臣